## 平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本	情報										
事務事	業	0108010	107010201	車	<b>坐夕</b> 詿	<b>基</b> 台 丁	事•業務委託檢	本重数		担当部	総務部
<b>⊐</b> —	ド	0100010	107010301	<b>尹</b> 孙尹:	木口門	1只工	一种 未历安时识	且于仍		担当課	工事契約検査課
政策:	名	07	新たる	な行政経合	営による。	まちつ	づくり			グループ	検査グループ
施策	名	01	健全	な財政運	営の推進	隹				電話番号	45-5111
基本事	業名	03	歳入	に見合っ7	た予算編	i成とi	<b>適正執行</b>			内線番号	3911
予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ		
算	款	08	土木	費				事業期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始 <sup>4</sup>	丰度 H	17 年度~)
予算科目	項	01	土木;	管理費				79][F]	□ 期間限定複数年度	(	~ )
目	目	01	土木	総務費				根拠法令·条例等	・地方自治法234条の2 ・公共エ	上事の品質確保の仮	進に関する法律
評価区	7分		標准部	平価	評価対	1象	1次評価	関連計画			

## 2. 事務事業の概要・目的・指標

## (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

- ・市が発注する請負工事、工事に係る委託業務の完了や一部完了を工事検査基準等に照らし検査することにより、目的物が設計図書どおりに完成しているか確認する。
  ・130万円を超える請負工事は、工事に対する施工体制、施工状況、出来形及び出来ばえ、工事特性、創意工夫、社会性、法令遵守等を工事成績採点表により評定し、評価対象となった建設業者に結果を通知する。また、評定した結果は、競争入札の際の格付けに活用する。
  ・130万円以下の請負工事、工事に係る委託業務については評価対象外とする。
  ・人員体制:総括工事監査監、工事契約検査課長、工事監査監2名(土木、建築)、臨時職員1

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	工事及び委託業務の検査件数(出来形	·一部完成·完成·中間)	件	634	739	640	650	650
1	検査件数(出来高・一部完成・中間・指	定部分)	件	58	82	34	40	40
ゥ	工事成績評定通知件数(130万円以上)		件	358	389	292	300	300
(2	2)事務事業の目的							
_	<b>対象</b> 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	<b>28年度</b> (見込)
ア	市発注の工事及び委託業務	検査実施件数	件	634	739	640	650	650
1	130万円を超える請負工事の受注業者	工事受注社数	業者	358	389	292	300	300
ゥ								
<b>4</b>	<b>意図</b>   ②対象をどうしたいのか)	5 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	契約等に基づき適正に履行される(目的物の品質が確保される)	手直し要求を求めた件数	件	0	0	0	0	0
1	技術水準の向上が図られる	優良工事(評定点数75点以上)	%	82.12	78.66	77.10	80.00	82.00
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
<b>6</b>	らにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年 <b>度</b> (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア	歳入に見合った予算の編成と予算執 行	一般財源の歳入額と歳出額の差	億円	△28	△21		△5	△6
1								
ゥ								

## 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

・平成17年の市町合併により、130万円を超える請負工事受注業者の成績評定を開始した。 請負工事受注業者の成績評定を開始した。 査機関の独立による専門的な検査体制を構築した。 国の公共事業費の縮減の影響を受け、年々工事件数・工事費が減少する中、臨時交付金や災害等の発生により、年によって工事件数等に増減がある。平成23年3月予算完任委員会、平成25年3月議会において、検査の内容等について質問がなされた。尚、平成26年度検査評定に対する意見や要望の説明請求はない

4.	事美	<b>美費</b>	の‡	隹移			単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度	28年度 (計画)
		国庫支出金					千円	0	0	0	0	0
	事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
	事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
	費	訳	そ	0	)	他	千円	0	0	0	0	0
投			_	般	財	源	千円	1,282	1,243	1,153	1,271	1,234
投入量	•	事	業	費			千円	1,282	1,243	1,153	1,271	1,234

## 5. 平成26年度の実績及び成果

(1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載> (2)平成26年度の成果

## <左記の実績(取組)による成果を記載>

- ・平成26年5月7日 第1回公共工事コスト縮減委員会開催 平成25年度 実績報告
- •平成26年度5月23日 公共工事担当職員研修会
- •工事検査件数 429件(完成397件 中間32件)
  - コスト縮減実績
    ①コスト縮減件数

  - 工事完成検査件数397件のうち54件 ②コスト縮減金額

  - 65億4,291万2千円のうち1億1,307万3千円
- ·業務委託検査件数 211件

哥		事業ード	01080	10107010301	事務事業名	請負工	事•業務	· 委託核	全事務	担担	当当	部課		務部 約検査課
6	_	· 返り <	(SFF)		于水口					1년		_	工事天	以快且味
<u> </u>	-	この事	務事業の	の目的は、基本	事業の意図に終	古びついています	ナか?	質であ	るかを確認し、	またエ	目的	物が影ついて	は工事成績	めた出来形、品 采点表により評 質の確保と請負 「業費の「歳入
A				いている	-			者の技に見合	何回上を促し った予算の編	目的物成と予	算執	質问よ 行」に	こにより建設事 つながる。	美質の   成人
目的妥当性				に結びついてい	\გ			-						
妥当				いていない	1. 184- > 4-1. 0	n-+1. n		· )+ △)	こ基づき実施し	<b>プレッ</b> フ	事. 张	マッセス		
袓	2			ぜ市が行わなけ て達成する目的		りじゅか?		<ul><li>市民z</li></ul>	が利用する請負	主工事	等の	目的物	を検査により	設計図書等の 『定を行うことは
			妥当で	ある				目的物	の品質確保に	つなか	が市	が行う	べきである。	- NEW 11 ) - CIA
			見直す	必要がある										
	3			る余地(可能性)		<b>n</b> ?		の評価		とから	受注			であり、受注者上により目的物
				る余地はかなり				-						
				る余地はある程										
			向上す	る余地はほとん	どない				₩. ₹₽. <b>-</b> ₹-3.2 I.A. <del>- 1</del> -	+ 7h 4	mbr .1	/1/	Les and the	LW. o. II SS/rf
B	4	廃止∙億	木止の景	/響はありません	か?				業務委託検査 0経済的損失を				することは目的	内物の品質低
B有効性		-	影響が	ぶある				1						
性			影響が	 「ほとんどない				1						
	⑤			<mark>対象・意図)又は</mark> でんか?(市以外の			の事務		事業がある場 事務事業名等					
			類似の	事業はない					業に係わる工			務委託	の検査を行う	専門的部署と
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の	事業があり、統	合又は連携で	きる								
	6	·事務事 ·補助金	業の手段など、交	役(やり方)を工夫で 付先に働きかけて	することで、事業費、市の負担を削減	費を削減できません 或できませんか?	か?	及び新	規検査員の研	修のた	こめの	費用で	であり、必要最	L台の維持管理 :小限の費用で
			削減で	きない				ある。 ま 	た市の負担で	行うべ	きで	あり削え	咸できない。	
C効率性			削減で	きる				14.1.3	No market and a second			2 2 4		
率  性	7	できませ	んか?	设(やり方)を工夫す			を削減	できない	業務は執行課だい。					
				なや委託により人作	井費を削減できま	せんか?		るが、-	-般的検査業績	务を職	員が行	行うこと	:により技術、タ	委託も可能であ 知識の向上に
				きない				1,012111	ることから現状	((0)9	卜部多	:計(はる	<i>うえられいよい</i> 。	
		車 敦 車	削減で	さる <mark>容が一部の受益</mark>	**タログロップロ	±++ (-h-2		• 市民	が利用する工事	話台	<b>学</b> 系	* 季 詳 /	の目的物の絵	杏業窓であり
D 公	8			担の公平性が					が確保されてい					求める業務で
公平性			公平•	公正である				100 000	,					
II			見直す	必要がある										
7.	1次	評価結	果 <	PLAN>(組織	決定)	[金書]前	年度の改	革改善の	rate≪	継	練・七	り方。	y <b>卷</b>	<b>&gt;</b>
(4)	. <del></del> .	75 古 米 4	N 7L #	継続	やり方改善	コスト拡充		縮小	連携	_	統合		休止	廃止
		務事業 <i>0</i> 方向性	り以中	0	O	コントがなりに	7/1	一州日小」、	建拐		机口			
				•		 0月の年2回, 年	間の四	半期ごと	の発注見通し	 を作成	71.70	よらいと	公表]。それは	「 基づき計画的
革司	女善	成27年月 の内容 lむべき		な発注を依頼す ・工事担当部署 前年度の検査 化を依頼する。	ける。 発注課には4月 犬況等を説明し	目にメール等で5 併せて検査時期 、工事の品質向	早期発注 別が年度	Eのお願 末に集	い文を通知し、 中しないよう早	また、 期発注	5月1 生を促	こ技術し、エ	者を集めた研 事及び業務委	修会において 新発注の平準
		成28年原 取組目標		集中しないように	こ常日頃からエ 3署には、長期の	三事担当者研修 事及び業務委託 の工期を必要とで	<b>光発注の</b>	)平準化	を引き続き推進	進してい	べく。			
Ω	2 7µ	評価結	里 /生	当部長評価)										
٥.	乙次	10 m 独立	木 (社										/± .1	r <del>ia</del> r .1
(1)事務事業の改革 継続 やり方改善 コスト拡充 コ 改善方向性									連携		統合		休止	廃止
- F		1.21T												
(2)	総	評												

	務事業 一ド	01080101	07010301	事 務 事業名		請負工事・	業務委託検査	事務	担当部担当部		総務部 契約検査課
9 =	コストの	推移		7 814 11					1530	エデス	やしてはい
				— -P 4	()	(refer )	T - 15 - 1 - 1 - 1	- (.). I m	.,		(=1 <del></del> )
		(単位:		平成26年	∓度 (決	:算)	平成27年月	度 (当初予算	.)	平成28年度	(計画)
1	報		栅								
2	給	<u> </u>	料								
3 4	<u> </u>	〔手 ≝ 済	<del>3 寺</del> 費								
5		 F 補 值									
7	_ <del></del>	1 111 13	金			956			1,017		980
8	報	償	費								
9	旅		費			24			25		25
10	交	際	費								
11	需	用				97			152		152
	消燃	耗 品料	費 費			20			44		44
	食		<del>具</del> 費			20			28		28
		刷製									
	光										
	修	繕	料			33			80		80
	賄	材米	↓ 費								
	飼		費								
		薬 材 :									
12	役	務	費			32			33		33
	_	信運									
	広手		料料								
	保		 料			32			33		33
13	<u>  ^</u> 委	託	料			52			55		33
14		<u> </u>									
15	工事	請負	1 費								
16	原	材料	費								
17		財産購									
18		購り									
19		補助及び				35			35		35
20 21	<u>扶</u> 貸	<u>助</u> 付	<u>費</u>								
22		ー I I I I I I I I I I I I I I I I I I I									
23		利子及び									
24		及び出									
25	積	立	金								
26	寄	附	金								
27	公	課	費			9			9		9
28	繰	出	金								
	計団	庄 士	шД			1,153			1,271		1,234
	特定財源	庫支	出金出金			0			0		
財源	財地		山 <u>亚</u> 債			0			0		
財源内訳	源を		他			0			0		
訳		般 財				1,153			1,271		1,234
		計				1,153			1,271		1,234
ż	甫助率		国		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						
			県								
補		基本									
平成	26年度		流用划				度特定財源内	訳			
		予算		1	,326		区分		名称		金額
	補止	予算			0						

当初予算	1,326
補正予算	0
流用・充用	1
予算合計	1,327

区分	名称	金額
	合 計	0

## 平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本	情報										
事務事	業	0100010	107010302	主	<b>坐</b> 夕 ス	打劫	<b>执行事務</b>			担当部	総務部
<b>⊐</b> —	ド	0108010	107010302	争伤争	未有一八	、イレギグ	111 争伤			担当課	工事契約検査課
政策:	名	07	新たる	な行政経	営による。	まちつ	づくり			グループ	入札契約グループ
施策	名	01	健全	な財政運	営の推進	É				電話番号	45-5111
基本事	業名	03	歳入	に見合っ	た予算編	i成とi	適正執行			内線番号	3951
予	会計	一般	会計					± **	□ 単年度のみ		
予算科目	款	08	土木	費				事業期間	<b>■ 単年度繰返</b> (開始 <sup>生</sup>	F度 H	17 年度~)
科	項	01	土木	管理費				79][1]	□ 期間限定複数年度	(	~ )
目	目	01	土木	総務費				根拠法令·条例等	地方自治法第234条		
評価区	₹分		標準語	平価	評価対	象	1次評価	関連計画			

#### 2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

## (1) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細を記述)

建設工事等に関する入札業務について、下記の取り組みにより入札執行の公平性・透明性の確保に努める。 ①入札等監視委員会の設置

市が発注する建設工事等の入札及び契約の過程並びに契約の内容について、透明性を高めるとともに公正な競争を促進させるために必要な審

②入札制度の改革

3/1618/2017 1億5千万円未満の建設工事の入札で実施している予定価格の事前公表や指名決定業者の事前公表を事後公表に見直し、談合や低価格入札が行われにくい環境を整備する。

1	活動指標 (事務事業の活動量)		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア	入札執行件数		件	545	598	439	440	440
1								
ゥ								
(2	:) 事務事業の目的							
_	<b>対象</b> 誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	<b>27年度</b> (見込)	28年度 (見込)
ア	建設工事入札	建設工事入札執行件数	件	384	390	297	300	300
1								
ゥ								
_	<b>意図</b> ②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度	28年度
ア	公正・公平な入札の執行	談合等、不適切な入札事件数/建設工事入 札執行件数	件	0	0	0	0	0
1								
ゥ								
(3	3)上位の基本事業							
_	基本事業の意図 ならにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度
ア	健全な状態になる	一般財源の歳入額と歳出額の差	億円	△28	△21	(ラベル質)	△5	( 14 /47 /
1								
ゥ								

# 3. 事務事業の環境変化・市民意見等

入札等監視委員会は平成21年度から、条件付一般競争入札は、平成19年度から開始。 きっかけは、いづれも公共事業に伴う談合事件等に対する世論の高まりにある。財政運営に対する高い関心ともに、入札執行結果に対しても依然として関心は高い。 ・予定価格の事前公表によると思われる高い落札率への懸念入村。の教行の見期実用化・真変

・一般競争入札への移行の早期実現化・高落 地率(95%超)の入札執行に対する談合等の 疑義

・予定価格の事前公表の廃止に対する意見 ・最低制限価格の設定についての意見

	А	nie e		ωt.	<b>坐</b> 轻			単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
)	4.	777	表現	,V) 1	が推移			中世	(決算)	(決算)	(決算)	(計画)	(計画)
				玉	庫3	支出	睁	千円	0	0	0	0	0
ı		事	財	県	支	出	金	千円	0	0	0	0	0
ı		事業費	財源内訳	地	7	5	債	千円	0	0	0	0	0
ı		費	訳	そ	0	D	他	千円	0	0	0	0	0
ı	投入量			_	般	財	源	千円	4,124	4,029	4,203	4,937	4,937
ı	量		耳	業	費			千円	4,124	4,029	4,203	4,937	4,937
ı	_												
ı													
I													
ı	I												

## 5. 平成26年度の実績及び成果

#### (1)平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>

## (2)平成26年度の成果

①入札等監視委員会 年2回開催 ②条件付一般競争入札の適用範囲の拡充(予定価格1,000万円以上から700万円以上へ)

③指名競争入札の電子入札試行(予定価格700万円未満の工事及び委託全件において電子入札を実施) ④契約管理システムの本格運用

入札等監視委員会は2回開催し、審議案件に対し入札及び契約の過程並びに契約内容等について、透明性・公正性の確保を目的とした審議を行った。また、入札執行については、契約管理システムと電子入札システムとの連携により、条件付一般競争入札の適用範囲の拡充と指名競争入札の電子入札試行の実施が可能となり、設計図書等の電子媒体化や会場での入札執行の廃止等により、談合等の行われにくい公正・公平な入札体制の整備が図れた。

事	務事コート		01080	10107010302	事 務事業名		入札執	行事務		担担	当当	部課		務部
3 :	振り返		SEE>	•	尹未石					担	理		<u> </u>	約検査課
	_				事業の意図に終	きびついています	<b>ナか?</b>		事入札の公正		な入村	しの幸		
	0			いている	子来の恋園で		, ,, .	調達されている。	なり、結果的に	威人に	-兄合	つに	ア昇の編成と	す 昇 乳 付 に 結
<u>.</u>			1,00	かいている  かに結びついてい	١.٨									
与				いていない										
目内妥当生	<u> </u>				ければならないの			市が発	注する公共工	事に関	する	入札美	<b>養務であり、</b> 作	大替性はない。
生			を投入し	て達成する目的										
		_	妥当で											
			見直す	がある				冬佐付	一般競争入札	につい	ング子	完価	枚1 000万円	じ トカント 700フ
	3 F	ず果か	向上す	る余地(可能性	) はありませんた	) <sup>,</sup> ?		円以上	に適用範囲を 国的に公共工	に充し 拡充し	、一気	足の成化域組	〒1,000万円 文果指標を向 ⊭持型の業者	上させたが、近 の育成が重要
			向上す	る余地はかなり	りある			視され	、多様な形態の 付一般競争入	)入札:	方式の	)導入	・活用が求め	うられているた
			向上す	る余地はある私	望度ある ニーニー									-00
		•	向上す	る余地はほとん	<b>しどない</b>			ls m lie	17° 1 . 10 1 18 - 18 16	A & de la		· · -	11	Huly 2 198
3	4	廃止・4	木止の景	/響はありません	<b>んか?</b>			成果指 い。	標に掲げる談グ	台等、	不適 <sup>t</sup>	切な丿	、札事件の抑	制につながら
<b>一</b>			影響が	<b></b> ある										
ŧ			影響が	「ほとんどない										
	<b>5</b>	類似の 事業は	)目的(対	対象・意図) 又は けんか?(市以外	形態(イベントや)の主体が実施する	啓発等)を持つ他 るものを含む。)	の事務		事業がある場 事務事業名等					
				事業はない						<u> </u>				
			類似の	事業はあるが、	統合又は連携	できない								
			類似の		合又は連携で	 きる								
					することで、事業費 て、市の負担を削減	貴を削減できません。 或できませんか?	しか?		行事務に関す 業費の削減余は			つい	ては、入札業	務に代替性は
		I I I I I		きない	、中心吴远飞时,	% CC & E 70 % .		· & ( T /	K A V III III A A A	_10.0x	• 0			
c		_	削減で											
C 効率			業の手具		することで、人件費	貴(延べ業務時間)	を削減		発注から完了					
生			:んか? J外の対応	なや委託により人	件費を削減できま	せんか?		で、各語	と工事契約検3 果が個別に作品 きるようになり、-	女する	データ	7等の	管理を一元	化・共有化する
			削減で	きない				今後は	より一層の運用	改革	来傍で、削	減効	果が期待で	が成が図れた。 きると考える。
		•	削減で	きる										
D	(B) _	<u> </u>	T 14 + 1	1 1 0 1 TT 14 18	益者に偏っている 確保されていま	<u></u>		適正な	入札執行により	)、広く	市民	の利益	益に貢献でき	るものと考える
公平			公平・☆	公正である										
生			見直す	- 必要がある										
	1次評	価結	果 <f< th=""><th>PLAN&gt;(組制</th><th><b>歳決定</b>)</th><th>[##]#</th><th>年度の改</th><th>英改善の</th><th>F向性<b>《 継</b></th><th>締・や</th><th>り方さ</th><th>· 善·</th><th>コスト縮小</th><th>&gt;</th></f<>	PLAN>(組制	<b>歳決定</b> )	[##]#	年度の改	英改善の	F向性 <b>《 継</b>	締・や	り方さ	· 善·	コスト縮小	>
- \	古水	<b>古 **</b> /	D 76 #	継続	やり方改善	コスト拡充		·縮小	連携		統合	\	休止	廃止
	事務		の改革	0	O	コヘト拡元	171	、胸口、	<b>建</b> 烷		机口			
				_		 テムの運用改革を	<u> </u> ⊱図り、2	人札執行	· - 手続きに関す。	 る運用	を更り	こ簡素	を化することで	 *、全庁的な事
<b>O</b> /	ਚ <del>ਵੀ</del> (	07Æ	± 0.74	務の軽減化を	図る。	公平性、透明性、								.,
包	女善の	内容		る提出義務化										
取	り組む	いべき	課題)											
				・7 打判座バック	コンプ オサのク	公平性、透明性、	<b></b>	止去日も	カレ ア 予定点	E 校 必	七夕》	4. 字 3	*孝の東後か	ま~の目声1
						品質確保等の観							長日 の事後公	(衣,、0)兄直し
3)	平成2 生•取約	28年月	度の方											
-11 12	エ ガスホ	<u>ч</u>	<b>7</b>											
				<u></u> _										
,	2次評	価結	果(排	<b>当部長評価)</b>										
				継続				<b>65</b> .1.	\ <del>+</del> \\		v+ ^		休止	廃止
	事務等方向		の改革	754 756	やり方改善	コスト拡充	コスト	縮小	連携		統合		61-44	7,511
										1				1
2)	総言	平												

事務	事業 ード	0108010107010302	事務事業名		入	.札執行事務		担当部		総務部 契約検査課
9. =	ストの	推移								
		(単位:千円)	平成26年	度(決	(算)	平成27年	度 (当初予算)		平成28年度	(計画)
1	報	州画								
2	給	料								
3		手当等								
4 5	共 <b>※</b> 章	済費								
7		金			254		1	,017		1,017
8	<del></del> 報	 			62			93		93
9	旅	費			11			6		6
10	交	際費								
11	需	用費			95			82		82
	_	耗品費			95			82		82
	燃食	<u>料費</u> 糧費								
		刷製本費								
		熱水費								
	修	繕 料								
	賄									
	飼	料費								
12	医 役	<u>薬材料費</u> 務 費			0			0		0
12					0			0		0
	広	告料								
	手	数料								
	保									
13	委	託 料								
14		及び賃借料			52			52		52
15		請負費								
16		材料費								
17 18		財産購入費			46			0		
19		は			3,683			5,687		3,687
20	扶	助 費			0,000			,,001		0,001
21	貸	付 金								
22		填及び賠償金								
23		利子及び割引料								
24		及び出資金								
25 26	<u>積</u> 寄	立     金       附     金								
27	<u></u> 公	課 費								
28	 繰	出金								
	計				4,203		4	,937		4,937
	特国	庫支出金			0			0		
財		支出金			0			0	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
財源内訳	財地源	方 債			0			0		
訳			3		4 202			0		4.007
		般財源 計			4,203 4,203			,937 ,937		4,937 4,937
	h = · ·	国			4,200			.,501		4,501
裤	亅	県								
補	助	基本額								
平成	26年度	補正・流用:	 <b></b>		平成26年	度特定財源内				
	当初	]予算		253		区分		名称		金額
	補正	予算		0						
				$\dashv$						
				$\dashv$						
$\vdash$				$\dashv$						
				$\dashv$						

合 計

流用・充用 予算合計